

概要

周辺8町との合併による生活圈域の拡大や高齢化の進行等に伴い、呉市における市民の移動ニーズは大きく変化しつつある。こうした中で、呉市の公共交通のうち、幹線となるJR呉線や呉市営バス等の路線と、これを補完する循環バスや合併町における生活バス(みなし4条)、さらには生活航路や離島航路といった支線となる路線の役割分担を明確化し、市民ニーズに応じた移動サービスをより効率的かつ効果的に展開していくことは、呉市における今後の大きな課題となっている。

これらの課題解決のための各種事業のうち、本年度事業としては、特に緊急度の高いものとして「音戸渡船の維持・支援事業」及び「市民主導型の移動手手段確保策支援事業」を予定している。

音戸渡船の維持・支援事業

300年もの歴史を有するとされ、周辺住民の日常生活に欠かせない公共交通機関でありながらも、近年では存続すら危ぶまれる状況となっている「音戸渡船」について、今後のあるべき姿を明確化するとともに、当面の維持・支援策の検討と事業化を図っていく。

本年度は昨年度に引き続き、広報・周知策やイベントとの連携等、利用促進策を中心とした事業を、地元まちづくり協議会が主体となって進めていく予定。

(想定事業案)

- ・今後のあるべき姿についての検討
- ・周知・広報用の記念品、パンフレット及び記念キップ等の企画作成

市民主導型の移動手手段確保策支援事業

警固屋地区において地元NPO法人「けごや元気丸」が運行を開始する「乗合タクシー事業」については、交通弱者の増加という同様な地域課題を抱える市内各地から注目を集めており、今後、市内各地への波及が予想される。

こうした事業を、市民主導・地域主導型として促進するためには、初期段階において、ソフト・ハード両面での支援を行うことが必要である。

このため本年度は、これら支援策の制度化を図るための試みとして「けごや元気丸」の事業へのアドバイスとともに、初期整備費用等の支援を行う。

(想定事業案)

- ・乗客待合所兼運営事務所の整備(内装改修・備品購入等)
- ・バス停表示板、案内パンフレット(時刻表)の作成等

